広報
ひらかわ
時と水ゆったり流れる
平川市
8月号
2013
NO.92
今月号の主な内容
・特集～グリーンツーリズム体験～
第２の故郷ができました
船橋市立二宮中学校の体験学習から
・平川市総合防災訓練を実施します
・平川ねぷたまつり2013

広報
ひらかわ
No.92　2013. 8

目次

各競技で奮闘!!
全国大会出場おめでとう

全国大会での健闘を誓う三浦さん（中）と
青森県男子監督の小田桐さん（左）

平賀西中学校ソフトボール部（下段）と
陸上競技部の菊池さん（上段左から2人目）

７月18日、平川市ソフトテニススポーツ少年団の三浦恭平さん（金田小６年）が第30回全日本小学生ソフトテニス選手権大会への個人戦と団体戦の出場を報告し、大舞台での健闘を誓いました。また、県代表男子チームの主将を務める三浦さんは、「一生懸命ボールに向かい、悔いのない試合をしたい」と意気込みを語りました。

７月23日には、平賀西中学校ソフトボール部が第13回全日本中学生男女ソフトボール大会の出場を、陸上競技部（男子砲丸投げ）の菊池颯太（そうた）さん（平賀西中３年）が、第40回全日本中学校陸上競技選手権大会の出場を報告し、全国大会での健闘を誓いました。ソフトボール部中山知実（さとみ）主将らは、「悔いのない試合をするために、チームみんなで頑張りたい」と、菊池さんは「全国大会が決まってうれしい。残りの練習時間を大切にし、大会に挑みたい」と抱負を述べました。

７月末現在の人口と世帯数　※（）は前月比。
■人口　33,311人（－４）　■世帯数　11,546世帯（＋12）
※７月中の届け出については15ページをご覧ください。

７月の交通事故件数
■交通事故　６件（負傷者11人、死者０人）

７月の出動件数
■火災出動　０件　■救急出動　71件
■救助出動　０件　■そ の 他　19件

８月の納期　※納期限９月２日(月)
■市県民税　第２期　■国民健康保険税　第２期
■介護保険料　第２期　■後期高齢者医療保険料　第２期

今月の表紙
７月26日、猿賀の蓮乗院で県ユネスコ協会による「平和の鐘を鳴らそう」が行われました。
大川市長をはじめ猿賀小学校児童ら約70人の参加者は、数人ずつに分かれて鐘を打ち鳴らし「ゴーン」という荘厳な音に平和への祈りを込めました。

市内の話題

知覧ねぷた祭

7月20日、鹿児島県南九州市で「知覧ねぷた祭」が開催されました。

当市からは佐藤教育長ら22人が参加した他、市内外の有志による平川怒涛(どとう)囃子組男気会のメンバー31人も応援隊として祭りに参加しました。

沿道にはたくさんの観衆が詰め掛け、「ヤーヤドー」の掛け声と共に次々と現れる扇ねぷたに大きな歓声が上がりました。

鮮やかな北の扇ねぷたが夜の闇に勇壮と浮かび上がり、南国の空を熱く焦がしました。

子ども図書館員

7月27日、平賀・尾上図書館で「子ども図書館員」が開催され、夏休み中の市内小学生20人が参加しました。

このうち、平賀図書館では図書館の仕組みについて説明を受けた後、カウンターでの本の貸し出しと返却の応対、図書検索、本を保護するフィルムカバーがけを体験しました。参加した平田琉夏(るな)さん(平賀東小４年)は、「本を返す時に探すのが難しかったけど、どういう仕事があるのか分かって楽しかった」と笑顔で話していました。

児童会・生徒会サミット

7月30日、尾上総合支所で「児童会・生徒会サミット」が開かれ、市内小中学校の児童会生徒会役員約90人が「きらめく学校・きらめくまちをつくるために」をテーマに意見を交わしました。

分散会では、テーマ実現のため各校で何を取り組むべきか参加者が真剣に話し合い、それを受けての全体会では「全校みんなで活動し、絆を深くしていくことがきらめく学校づくりにつながる」などの発表がされ、充実した情報交換が行われました。

特集～グリーンツーリズム体験～

第２の故郷ができまし

船橋市立二宮中学

毎日の忙しさのあまり、過ぎ去ってしまう日々
ちょっと立ち止まってみてみよう
実は私たちの周りには
心が温かくなるような出来事があった…

よくきたな～

2

3

4

市内各地に広がりを見せるグリーンツーリズム
（農作業・農村生活体験ファームステイ）

グリーンツーリズムは農山漁村の豊かな自然や美しい景観・風土・人情・文化・食など、地域の人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動であり、世界ではヨーロッパを中心に普及してきた。

また日本では近年、田植え、稲刈りなど農作業体験、学校教育を通じた体験学習などが浸透し、広く「滞在、体験、交流」と表現することができる。

平川市内でも、NPO 法人「広域連携津軽・ほっとスティネットワーク」（佐藤正彦理事長）が平成16年５月に初めて農作業・農村生活体験ファームステイの受け入れを行った。

それ以来、今年５月末で延べ 91校約13,000人の生徒たちとアメリカ・タイ・台湾の大人や留学生を受け入れ、平川市の魅力を発信し、農業農村の活性化を図ってきた。

今年度も17校の学校が平川市を中心にファームステイをすることが確定している。

このうち、千葉県船橋市にある二宮中学校は初めての受入団体で、平成16年５月に修学旅行で訪れて以来、今年で10周年を迎えた。この二宮中３年生246人が５月23日、24日と一泊二日の日程で市内を訪れ、受入農家51 戸の元で農作業・農村生活体験ファームステイをした。

今回は、グリーンツーリズムが特に盛んな金屋地区の受入農家にお邪魔した。

た

校の体験学習から

1．入村式で校歌を歌う生徒たち
2．緊張しながらも受け入れ農家との初対面でホッとする
3．みんなで晩ご飯を囲んで乾杯
4．おいしくできた手作りアップルパイ
5．作業の場となったりんご畑
6．りんごの花摘みの仕方を教わる
7．花摘みにも慣れ、笑顔がこぼれる
8．岩木山をバックに大ジャンプ！
9．10周年記念植樹で八重桜を植える

初めてのリンゴの花摘みに、最初は不慣れながらも、すぐに慣れて、一気にりんご娘に

白戸さんの元に女子中学生５人がやってきた。まずは少しゆっくりしようということで、りんごジュースで乾杯をした。５人からは一斉に「おいしい！」との声が上がる。静さんが「このへんのお家では、りんごジュースはみんな手作りなの。各家庭で使うりんごの種類や配合が違うから、味がそれぞれ違うのよ。ちなみに、我が家は、ジョナとふじを４対６で混ぜてるの」と話すと、５人から「えー！すごい」と驚きの声が上がった。

おいしいりんごジュースを飲んだ後に彼女たちに託された仕事は、りんごの花摘み作業だ。もちろん初めての作業に、やり方を丁寧に教えてもらう。慣れない脚立に乗り、不安そうにやっていたが、若くのみ込みの早い５人はすぐにやり方を覚え、テキパキと作業をした。学校の先生には、「そのくらいの集中力で勉強もやれ」と言われる始末。５月の心地よい風が流れる中、りんご畑には笑い声も聞こえ、千葉から来たりんご娘たちの作業は進んだ。

白戸邦俊、静さんご夫妻からメッセージ

元気の源になったよ ありがとう

りんごの花摘みやじゃがいもの植え付けをしてもらいましたが、あれから時間が経ち、作物の成長をみると、５人のことが思い出されます。じゃがいもの作業もはじめはスローペースでしたが、慣れてくるとみんなで分担して作業をし、私たちのほうが追い越されるくらいでしたね。とても助かりました。

毎年、りんごケーキを作っているのですが、楽しそうに作り「おいしい、おいしい」と食べているのがとても印象的でした。

みなさんもいろいろ体験して思い出になることがあるかとは思いますが、私たちも感動や刺激をもらい、日々また頑張っていこうというエネルギーになります。

こちらは過ごしやすいですが、そちらは毎日暑いでしょう。元気で頑張っていることとは思いますが、これからは志望校目指して頑張ってくださいね。

秋においしいりんごを贈るので、楽しみにしていてくださいね。

また青森へ遊びにきてください。

ご飯がおいしい！この家に住みたい！

一方、森内さんの晩ご飯。食卓には地元特産のおからこんにゃくのからあげや、貝焼きみそなど地元の新鮮な食材を使ったごちそうが並んだ。

生徒たちは「おやつはりんごケーキ、りんごジュースがお茶代わりだし、おかずの種類がいっぱいでどれもおいしい。この家に住みたい！」と声をそろえて話す。

ご飯を食べてからは、みんなでボール遊び。この家に住む凛くん（５歳）もお姉ちゃんたちに混ざってとても楽しそうに遊んでいた。

その後はお待ちかねの津軽弁カルタ。慣れない津軽弁に少し戸惑いもあったが、耳を澄まして聞き、「おもしろーい」と笑い声が上がった。一度とは言わず何回もカルタをしてみんなで楽しみ、彼女たちの一生の思い出となる夜は更けていった。

津軽弁カルタ

森内勇治、淑子さんご夫妻からメッセージ

見果てぬ夢を子どもたちに託して

私たちは毎年ファームステイの受け入れをしているのですが、そのたびごとに思い出に残ることがあります。まずはりんごの丸かじりにとても感激してくれたのが印象に残っています。

岩木山に向かって、将来の誓い

我が家では、来てくれた生徒全員に岩木山に向かい、将来の誓いをしてもらっています。「素敵な花嫁になる！」「スターになる！」「志望校に合格する！」など叫んだら、それを聞いた畑で作業をしていたおじさんが「がんばれよ～！」と答えてくれて、みんなで笑いましたね。

私たちはその夢を聞きながら、見果てぬ夢をみなさんに託しています。これからいろいろなことが待っているかとは思いますが、夢に向かって頑張ってほしい。青森で応援していますよ。

お別れのとき…へばな～

楽しい時間はあっという間に過ぎてしまう。出迎えた時と同じように、生徒、農家の方々全員が一カ所に集合した。生徒代表者が「自然の中で、ご家族と交流し、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。僕たちは第２の故郷だと思っています」と最後にあいさつをした。

そしてお別れのとき…それぞれのグループでは、最後に集合写真をおさめたり、「お互いに元気で」などと会話をしたり、握手をして最後の時間を惜しんでいた。

バスに乗り込み、出発の時間がきた。「へばな～、元気でな～」と大きな声で手を振り、見送る農家の方々。それに応える生徒たち。バスが見えなくなるまで、大きく手を振り続けていた。

お手紙が届きました

白戸夫妻にお世話になった

本当の家族のように優しく心が温まりました

中村亜央衣さん

普段なかなか体験できないりんごの花摘みや、種いもの流れ作業など、とても楽しく貴重でした。りんごの花を見ることができて、とても新鮮でした。まさか、その日来たばかりの家でくつ下を洗うことになるとは思いもしませんでしたが。まるで本当の家族のように優しく、楽しく接していただき、心が温まり、また別れがとても辛く感じました。こちらでは学校も始まり、授業、部活頑張っています。帰ってきたばかりのときには、自分の家にいるのに、青森に戻りたいと思ってしまうこともありました。それくらい楽しませていただいたみなさまにはとても感謝しています。ありがとうございました。

へばの。

森内夫妻にお世話になった

すてきな花嫁さんになれたらすぐに報告します

小島夏乃さん

先日のファームステイのことですが、あのときは大変お世話になりました。おいしいご飯にあたたかい家庭、とても楽しかったです。りこちゃんやりんくんと一緒に遊ばせてくれてありがとうございました。るいくんと遊べなかったのが、少し残念でしたが、よろしければまた遊ぼうと伝えてください。とても楽しかったです。

またおじいちゃんたちと会うときは、誓いを果たしたときでしょうか。すてきな花嫁さんになれたらすぐに報告いたします。楽しみにしていてください。最後になりますが、お体に気をつけて過ごして下さい。

※原文のまま掲載。

INTERVIEW

地域農業が維持・発展する グリーンツーリズムを

NPO法人広域連携
津軽･ほっとスティネットワーク
理事長　佐藤 正彦氏

佐藤正彦氏（写真右）

プロフィール

平成19年　ＮＰＯ法人広域連携津軽･ほっとスティネットワーク理事長に就任。
平成20年　地域力創造アドバイザー（総務省登録）。
平成24年　農業生産法人㈱グリーンファーム農家蔵設立代表取締役に就く。

今も続いている交流関係

平成19年に農作業体験をし、当時高校生だった生徒が、４年半ぶりにお世話になった農家を訪れ、再会を喜び合ったというエピソードが去年３月にありました。農作業体験をしたことで、農業が自分に合っていると考え、農業系の大学に進み、卒業後は都市と地方を繋ぐような仕事をしたいと夢を語ってくれました。このファームスティが人生を変える出会いとなり、交流の輪が広がったことをとても嬉しく思います。

ファームステイ後の生徒の保護者から「子どもが家に帰ったとたん、『私また青森に帰るから』と言うんですよ、本当にいい経験をさせてもらいました」と先生方にお話があったそうです。先生方からは「私たちが感じる以上に、生徒たちの心に大きな何かが植え付けられたのだと思っています」と連絡が届きました。あちらこちらで「生徒たちの人間力向上に繋がっています」という喜びの声が多く聞こえてきて、とても嬉しいですね。

各農家の方からも生徒の家から贈り物が届いた、大学に入学した時報告の手紙をくれた、夏休みにまた訪ねてきたなど、その後も交流が続き、「孫が増えたようなものだ」と喜んでいます。

若い人が農業の大変さや、食べ物のありがたみ、農家の方の心の温かさを知ることで、思い出が深く心に残り、また青森に来たいという気持ちが芽生えるのだと思います。今後もこのような交流関係を続けていけたらと思います。

交流型農業形態をめざして

グリーンツーリズムは難しい事業ではありません。「農家の皆さんが生産し、その中に生徒が入る。農家の普段と変わらない生活を共にすることで、次世代を担う生徒の食農・食育教育となる。そして、地元の人々・言葉・文化に触れることで交流に発展し、結果として感動へと繋がる。また、農家にとっては健康増進や、刺激となり、日々の目標が生まれる」といったように、依頼する側、受ける側の双方に、心のゆとりが生まれ、交流型農業（生産・教育・交流・加工・販売）へと繋がります。

産業を組み合わせることで地域を元気に

これからの時代、グリーンツーリズム＝６次産業化を避けては通れないと思います。グリーンツーリズムは製造、販売、サービス等の２次・３次産業と密接に関わっています。農業を基本としながらも、そこから波及する産業をうまく組み合わせることで、相乗効果に繋がり、地域の活性化が生まれると考えます。

また、私たちの活動が平成24年度農林水産省６次産業化整備推進事業に採択され、加工販売施設（蔵工房）が竣工しました。この施設を活用しながら、受け入れ農家の商品や市内のお菓子業者等の商品を陳列し、お土産を販売するなどの活動をしていきたいと考えています。

やりがい生むグリーンツーリズムを

農家からは修学旅行生との交流を通して、「自分たちの地域のよさを逆に教えられた」「農業への誇りを取り戻した」「農業を伝えたい、分かってもらって自分のやりがい、実感に繋げたい」というような普段の生活、仕事に意欲が湧いてくるという声が聞かれます。これは労働意欲の増加や結果として所得向上に繋がるでしょう。そのような人たちが10人、20人、100人となれば、地域農業の活性化に必ず寄与するはずです。

平川市は農家蔵や農家住宅、豊かな農村景観、地域の文化、地域住民主体でのグリーンツーリズムを行うことができる最適な場所です。

グリーンツーリズムの必要性をもっともっと地域の人たちに理解してほしい、その切なる想いで日々受け入れ農家啓もうに回っています。今後もさまざまな情報を発信しながら、地域の人々の協力を得て、まい進していきたいですね。

平川市総合防災訓練を実施します

日 時　８月31日(土)　９時〜12時
場 所　平賀総合運動施設（ひらかドーム）
**　　　　碇ヶ関小学校**

実際の災害発生時でも慌てず、落ち着いて適切な行動ができるように
防災関係団体と地域住民の参加のもと、総合防災訓練を実施します。

訓練の内容

訓練内容	ひらかドーム（主会場）	碇ヶ関小学校
緊急速報メール配信訓練	○	○
災害対策本部設置運営訓練	○	○
現地調整所訓練	○	−
防災ヘリ緊急物資輸送訓練	○	○
交通規制訓練	○	○
緊急交通路確保訓練	○	−
救援物資緊急輸送訓練	○	−
災害広報訓練	○	○
避難所設置・運営訓練	○	○
避難・避難誘導訓練	○	○
建築物火災防ぎょ訓練	○	○
発災対応総合訓練	○	○
ドクターヘリ搬送訓練	○	−
炊き出し訓練	○	○
体験・展示（はしご車）	○	○

※ひらかドームでは、「はしご車展示と体験乗車」、碇ヶ関小学校では「防災ヘリ展示」が行われます。

平成24年度平川市総合防災訓練の様子

訓練の参観について

防災訓練はどなたでもご自由に参観することができます。防災を市民の皆様と一緒に考え、取り組みたいと思いますのでぜひご参観ください。

駐車場について

・ひらかドーム
　ドーム東側の株式会社日本マイクロニクス駐車場、体育館駐車場、平賀農村環境改善センター駐車場
・碇ヶ関小学校
　碇ヶ関総合支所駐車場、碇ヶ関中学校駐車場
※当日は係員が誘導しますのでご協力をお願いします。

施設のお休み

平賀総合運動施設（体育館、屋内運動場、屋内温水プール、テニスコート等）は８月31日(土)９時から13時まで全施設休業となります。

お願いと注意事項

・訓練当日、会場周辺では広報車両による巡回、関係車両やヘリコプターが出動し騒音などで付近住民の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。
・ドーム東側市有地から、碇ヶ関小学校グラウンドまで防災ヘリによる物資輸送訓練（着陸場所：碇ヶ関小学校）を行います。周辺にお住まいの方や農業耕作者の皆様は風圧に十分ご注意ください。
・雨天時や災害発生時は中止することがあります。
・市内全域の携帯電話へ緊急速報メール「災害・避難情報」をテスト配信します（NTT ドコモ、ソフトバンクモバイル、au の「災害・避難情報」対応機種に限ります）。会議や行事などがある場合は、受信音が鳴らないように設定されておくことをお勧めします。設定方法は、機種によって異なりますので取扱説明書等でご確認ください。

問合せ　：　総務課　交通防災係　☎44 - 1111（内線1352、1354）

第44回津軽花火大会

藤崎町

8月20日(火)、今年も夏を彩る「津軽花火大会」を開催します。 白鳥ふれあい広場を会場に、夏の夜空に約4,000発の花火が打ち上げられ、夏まつりのフィナーレを飾ります。当日は花火のほか、商工会青年部による灯ろう流しや様々な露店が軒を連ねます。

開催日　8月20日(火)
場所　白鳥ふれあい広場(藤崎町藤崎字岡元13-4)
入場料　無料
問合せ
◆藤崎町商工会　☎75-2370
◆藤崎町商工会常盤支所　☎65-3044

豪快な打ち上げ花火で盛り上がる会場

第1回「クラフト小径(こみち)」

板柳町

クラフトフェア「クラフト小径」を開催します！

アップルモールを会場に、日本全国からプロのクラフト作家120組が集い、各々の作品を展示販売するイベントです。作品販売のほか、クラフト作りを体験するワークショップ、Able Art(障がいを持つ人の芸術)の紹介などを予定しています。ホームページも随時更新中！(http://craftkomichi.wordpress.com)

開催日　10月5日(土)、6日(日)
場所　中央アップルモール　※板柳町役場近く
入場料　無料
問合せ　クラフト小径実行委員会　☎090-3405-4672

多彩なクラフト作品が目白押し

市町村イベントカレンダー

月	とき	イベント名	イベント内容【問合せ先】
8月	~10月27日	弘前マルシェ「青空市場FORET(フォーレ)」	毎週日曜日、駅前公園～並木通りの遊歩道沿いで開催される農産物直売青空市場です【弘前マルシェコンソーシアム(☎31-0508)】
	14・15日	御関所まつり	ユーモアたっぷりの奴(やっこ)とかわいらしい稚児の「関所行列」、江戸みこし等で賑わいます【平川市商工会碇ヶ関支所(☎45-2044)】
	14~20日	黒石よされ	日本三大流し踊りの一つ。「エッチャホー」の掛け声とともに踊り子が舞い踊ります【同実行委員会(黒石商工会議所内)(☎52-4316)】
	16日	大川原火流し	大川原の伝統行事。わら舟に火をつけて中野川を若者たちが進みます【黒石市商工観光課観光振興係52-2111(内線407)】
	17日	ふるさと元気まつり2013	ねぷた運行や黒石よされなど、黒石の夏祭りが一堂に結集。打ち上げ花火もあります【黒石青年会議所(☎52-3369)】
9月	4日	レッツウォークお山参詣	五穀豊饒・家内安全を岩木山に祈願する集団登拝行事を気軽に体験できるツアーです【同実行委員会事務局(☎83-3000)】
	14・15日	黒石こみせまつり	津軽三味線やよさこいソーランの披露など、地元ならではのイベントが盛り沢山【同実行委員会事務局(黒石商工会議所内)(☎52-4316)】
	15日	カルチュアロード2013	歩行者天国になった土手町通りで、多彩な催しや出店が盛りだくさんです【同実行委員会事務局(☎35-2154)】
	15日	暗門祭	マイタケ鍋や様々なアトラクションなど盛りだくさん「アクアグリーンビレッジANMON」で開催【目屋観光協会(☎85-2800)】
	18~20日	猿賀神社十五夜大祭	県下獅子踊大会が開かれ、県内各地の伝統芸能保存団体が勇壮な舞を披露します【猿賀神社(☎57-2016)】
	28・29日	津軽の名人・達人バンクふれあいまつり	様々な分野で一芸に秀でた「津軽の名人・達人」の技をイオンタウン弘前樋の口で紹介【津軽広域連合(☎31-1201)】
	29日	第21回稲刈り体験ツアー	田んぼアート「花魁とハリウッドスター」の稲刈り体験ができます【田舎館村企画観光課(☎58-2111)】
10月	5・6日	ひらかわフェスタ2013	地場産品の紹介と販売、食育についての展示、市内外の有名ラーメン店も出店します【平川市経済部農林課(☎44-1111)】
	13日~11月10日	中野もみじ山ライトアップ	紅葉の景勝地「中野もみじ山」で、ムービングライトを使った秋のライトアップ【黒石市商工観光課観光振興係52-2111(内線407)】
	13日	りんごの里板柳まるかじりウォーク2013	6、13、26kmの3コース！りんごもぎとり体験もあります【板柳町教育委員会 生涯学習課(☎72-1800)】
	18~20日	津軽の食と産業まつり	津軽の「食」と「産業」をテーマに地元生産品などを紹介。野外テント村や催しも多数【同運営協議会事務局(☎33-4111)】
	19・20日	全国こけし工人フェスティバル(黒石市)	全国からこけし工人が津軽こけし館に集結。工人による実演や展示即売などを行います【津軽こけし館(☎54-8181)】